

原 安 第 3 8 3 号  
令和 5 年 10 月 23 日

唐津市長 峰 達郎 様

佐賀県知事 山口 祥義



原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条に基づく連絡内容について  
(通知)

このことについて、原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条（平常時における連絡）に基づき、以下のとおり九州電力株式会社から連絡を受けたので、平成18年3月26日付けで交換した「原子力発電所の安全確保に関する協定書に係る佐賀県と唐津市の確認書」に基づき、通知します。

1 「環境保全測定報告書」の訂正について

〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名  
2023年9月26日付け 立コミ本第216号〕・・・(別添1)

2 協定書の覚書に基づく連絡について

〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名  
2023年9月29日付け 立コミ本第221号〕・・・(別添2)



別 添 1

立コミ本第216号

2023年9月16日

佐 賀 県 知 事

山 口 祥 義 様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

池 辺 和 司

「環境保全測定報告書」の訂正について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条に基づき、定期的にご連絡している報告書のうち、立コミ本第482号（2022年3月31日付け）、立コミ本第32号（同年4月28日付け）及び立コミ本第47号（同年5月31日付け）「協定書の覚書に基づく連絡について」にて「環境保全測定報告書」を提出しておりましたが、玄海3号機の取水口温度の報告値について、海水温度を測定できていない可能性があることを確認しましたので、別紙のとおり、訂正いたします。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

## 玄海原子力発電所 3号機における取水口温度の訂正について

### 1. 概 要

安全協定に基づきご報告している玄海原子力発電所の「環境保全測定報告書（以下、報告書）」のうち 2022 年 3～5 月にご報告した玄海 3 号機の取水口温度（2～4 月実績）につきまして、海水ポンプ取替工事の実施に伴い、取水口の海水温度が測定できていない可能性があることが、報告書提出後に判明しました。（詳細は 2. 経緯を参照）

つきましては、当該期間における玄海 3 号機の取水口温度について、別紙 2 のとおり訂正いたします。

### 2. 経 緯

○ 2022 年 2 月 28 日～4 月 20 日

- ・ 3 号機海水ポンプ取替工事のため、取水ピットの水抜きを実施。
- ・ この間、報告書作成箇所は取水ピットの水抜きに気づかず、また、外気温の変動幅が大きく、海水温の変動も大きかったことから、外気温等の影響と判断し、測定値をそのまま報告書（2～4 月実績）に記載し提出。

○ 2022 年 12 月下旬

- ・ 4 号機の報告書（11 月実績）作成時に、取放水口温度に大きな差があったため原因を調査したところ、4 号機の取水ピットの水抜き作業（11/19～12/22）により温度計が大気に露出していた事実を確認。このため、当該期間中の 4 号機の取水口温度を「－」と記載して報告書提出。

○ 2023 年 1 月 30 日

- ・ 上記事案を受け、3 号機も含め過去に同様の事例がないか調査を行った結果、3 号機においても 2022 年 2 月 28 日～4 月 20 日の期間で取水ピットの水抜き作業を実施していたことを把握。当該期間中は 4 号機同様に温度計が大気に露出していたと推定した。

以 上

変更前

変更後

環境保全測定報告書

環境保全測定報告書

2022年2月分

2022年2月分

九州電力株式会社

九州電力株式会社

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分 (%)	玄海1・2号機	玄海3・4号機
	0.05	0.06

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分 (%)	玄海1・2号機	玄海3・4号機
	0.05	0.06

2. 排水処理施設出口排水の水質

測定月日	玄海1・2号機				玄海3・4号機			
	水素イオン濃度*1 (mg/l)*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*2	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2	水素イオン濃度*1 (mg/l)*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*2	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2
2月2日	7.3	0.7	—	—	7.3	2.6	—	—
2月9日	7.1	<0.5	—	—	7.3	1.3	—	—
2月16日	7.3	0.6	1.1	検出せず	7.3	2.2	0.1	検出せず
2月22日	6.8	0.7	—	—	7.2	1.1	—	—

2. 排水処理施設出口排水の水質

測定月日	玄海1・2号機				玄海3・4号機			
	水素イオン濃度*1 (mg/l)*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*2	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2	水素イオン濃度*1 (mg/l)*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*2	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2
2月2日	7.3	0.7	—	—	7.3	2.6	—	—
2月9日	7.1	<0.5	—	—	7.3	1.3	—	—
2月16日	7.3	0.6	1.1	検出せず	7.3	2.2	0.1	検出せず
2月22日	6.8	0.7	—	—	7.2	1.1	—	—

\*1 毎週1回以上の測定  
\*2 毎月1回以上の測定

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

測定月日	玄海1・2号機				玄海3号機				玄海4号機			
	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)
2月10日	13.1	13.4	検出せず	13.3	14.9	検出せず	13.3	20.1	検出せず	13.3	20.1	検出せず
*1 2月18日	12.7	12.7	検出せず	12.8	14.9	検出せず	12.9	19.7	検出せず	12.9	19.7	検出せず
2月28日	13.0	13.0	検出せず	13.0	15.1	検出せず	13.0	19.9	検出せず	13.0	19.9	検出せず

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

測定月日	玄海1・2号機				玄海3号機				玄海4号機			
	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)
2月10日	13.1	13.4	検出せず	13.3	14.9	検出せず	13.3	20.1	検出せず	13.3	20.1	検出せず
*1 2月18日	12.7	12.7	検出せず	12.8	14.9	検出せず	12.9	19.7	検出せず	12.9	19.7	検出せず
2月28日	13.0	13.0	検出せず	13.0	15.1	検出せず	13.0	19.9	検出せず	13.0	19.9	検出せず

\*1 20日が休日のため、18日の測定結果を報告

\*1 20日が休日のため、18日の測定結果を報告  
\*2 海水ポンプ取替工事に伴い取水ポイントの水抜きを考慮したため、海水温度が測定できていない可能性がある。

変更前

変更後

環境保全測定報告書

環境保全測定報告書

2022年3月分

2022年3月分

九州電力株式会社

九州電力株式会社

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分 (%)	玄海1・2号機	玄海3・4号機
0.05	0.05	0.06

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分 (%)	玄海1・2号機	玄海3・4号機
0.05	0.05	0.06

2. 非水処理施設出口排水の水質

測定月日	玄海1・2号機			玄海3・4号機		
	水素イオン濃度*1 (mg/l)*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2	水素イオン濃度*1 (mg/l)*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2
3月2日	7.1	2.7	—	7.2	2.1	—
3月9日	7.5	<0.5	—	7.3	1.9	—
3月16日	7.5	0.8	—	7.3	1.0	検出せず
3月23日	7.3	0.7	1.7	7.5	1.3	—
3月30日	7.4	0.7	—	7.3	1.2	—

\*1 毎週1回以上の測定  
\*2 毎月1回以上の測定

2. 非水処理施設出口排水の水質

測定月日	玄海1・2号機			玄海3・4号機		
	水素イオン濃度*1 (mg/l)*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2	水素イオン濃度*1 (mg/l)*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2
3月2日	7.1	2.7	—	7.2	2.1	—
3月9日	7.5	<0.5	—	7.3	1.9	—
3月16日	7.5	0.8	—	7.3	1.0	検出せず
3月23日	7.3	0.7	1.7	7.5	1.3	—
3月30日	7.4	0.7	—	7.3	1.2	—

\*1 毎週1回以上の測定  
\*2 毎月1回以上の測定

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

測定月日	玄海1・2号機			玄海3号機			玄海4号機		
	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)
3月10日	13.4	13.8	検出せず	10.4	15.1	検出せず	13.4	20.3	検出せず
*1 3月18日	14.2	14.2	検出せず	11.0	15.9	検出せず	14.3	21.2	検出せず
3月30日	15.0	15.0	検出せず	12.6	15.2	検出せず	14.6	21.5	検出せず

\*1 20日が祝日のため、18日の測定結果を報告

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

測定月日	玄海1・2号機			玄海3号機			玄海4号機		
	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)
3月10日	13.4	13.8	検出せず	10.4	15.1	検出せず	13.4	20.3	検出せず
*1 3月18日	14.2	14.2	検出せず	11.0	15.9	検出せず	14.3	21.2	検出せず
3月30日	15.0	15.0	検出せず	12.6	15.2	検出せず	14.6	21.5	検出せず

\*1 20日が休日のため、18日の測定結果を報告

\*2 海水浄化設備工事に伴い取水口の稼働を止め、海水温度の測定できていない可能性がある。



変 更 後

変 更 前

環境保全測定報告書

環境保全測定報告書

2022年4月分

2022年4月分

九州電力株式会社

九州電力株式会社

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

玄海1・2号機		玄海3・4号機	
重油いおう分 (%)	0.06	重油いおう分 (%)	0.06

玄海1・2号機		玄海3・4号機	
重油いおう分 (%)	0.06	重油いおう分 (%)	0.06

2. 排水処理施設出口排水の水質

2. 排水処理施設出口排水の水質

玄海1・2号機				玄海3・4号機					
測定日	水素イオン濃度*1 (mg/l)*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2	測定日	水素イオン濃度*1 (mg/l)*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2
4月6日	7.4	0.7	—	—	4月6日	7.2	2.1	—	—
4月13日	6.8	0.6	6.1	検出せず	4月13日	7.3	1.9	—	—
4月20日	6.8	0.6	—	—	4月21日	7.3	1.7	0.2	検出せず
4月27日	7.3	0.9	—	—	4月27日	7.1	1.6	—	—

玄海1・2号機				玄海3・4号機					
測定日	水素イオン濃度*1 (mg/l)*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2	測定日	水素イオン濃度*1 (mg/l)*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2
4月6日	7.4	0.7	—	—	4月6日	7.2	2.1	—	—
4月13日	6.8	0.6	6.1	検出せず	4月13日	7.3	1.9	—	—
4月20日	6.8	0.6	—	—	4月21日	7.3	1.7	0.2	検出せず
4月27日	7.3	0.9	—	—	4月27日	7.1	1.6	—	—

\*1 毎週1回以上の測定  
\*2 毎月1回以上の測定

\*1 毎週1回以上の測定  
\*2 毎月1回以上の測定

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

玄海1・2号機				玄海3号機				玄海4号機				
測定日	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)
*1 4月8日	15.8	15.4	検出せず	—*2	16.6	検出せず	15.3	22.1	検出せず	15.3	22.1	検出せず
4月20日	16.9	16.1	検出せず	—*2	17.3	検出せず	16.1	23.0	検出せず	16.1	23.0	検出せず
*1 4月28日	17.9	17.2	検出せず	16.3	18.2	検出せず	17.0	23.8	検出せず	17.0	23.8	検出せず

玄海1・2号機				玄海3号機				玄海4号機				
測定日	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)
*1 4月8日	15.8	15.4	検出せず	13.0	16.6	検出せず	15.3	22.1	検出せず	15.3	22.1	検出せず
4月20日	16.9	16.1	検出せず	14.2	17.3	検出せず	16.1	23.0	検出せず	16.1	23.0	検出せず
*1 4月28日	17.9	17.2	検出せず	16.3	18.2	検出せず	17.0	23.8	検出せず	17.0	23.8	検出せず

\*1 10、30日が休日のため、8、23日の測定結果を報告  
\*2 海水が工場排水に併用されているため、海水温度が測定できない可能性がある。

\*1 10、30日が休日のため、8、28日の測定結果を報告

別 添 2

立コミ本第221号  
2023年9月29日

佐 賀 県 知 事  
山 口 祥 義 様

九州電力株式会社  
代表取締役 池 辺 和  
社長執行役員



協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条に基づき、  
別添報告書のとおり連絡いたしますのでご査収ください。

敬 具

報告書内容

- |                |         |
|----------------|---------|
| 1. 環境保全測定報告書   | ( 月 報 ) |
| 2. 発 電 実 績     | ( 月 報 ) |
| 3. 核燃料物質の消費状況  | ( 月 報 ) |
| 4. 放射性廃棄物の管理状況 | ( 月 報 ) |
| 5. 環境放射能の測定結果  | ( 月 報 ) |
| モニタリングポスト      |         |
| 6. 廃止措置の実施状況   | ( 月 報 ) |

以 上

# 環境保全測定報告書

2023 年 8 月分

九州電力株式会社

## 1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分 (%)	玄海 1 ・ 2 号機	玄海 3 ・ 4 号機
	0.05	0.05

## 2. 排水処理施設出口排水の水質

玄海 1 ・ 2 号機					玄海 3 ・ 4 号機				
測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2	測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2
8月2日	7.6	1.2	—	—	8月1日	7.4	1.2	—	—
8月8日	7.5	2.0	—	—	8月8日	7.1	1.0	—	—
8月16日	7.5	0.8	0.6	検出せず	8月16日	7.2	1.0	0.1	検出せず
8月23日	7.8	4.6	—	—	8月23日	7.2	1.4	—	—
8月30日	7.7	0.9	—	—	8月30日	7.3	2.2	—	—

\*1 毎週1回以上の測定  
\*2 毎月1回以上の測定

## 3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

	玄海1・2号機			玄海3号機			玄海4号機		
	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)
8月10日	25.0	24.3	検出せず	24.1	31.1	検出せず	24.1	30.9	検出せず
*1 8月18日	25.6	25.6	検出せず	25.3	32.3	検出せず	25.3	32.1	検出せず
8月30日	28.9	27.7	検出せず	27.6	34.6	検出せず	27.7	34.6	検出せず

\*1 20日が休日のため、18日の測定結果を報告。



# 発 電 実 績

2023年8月分

九州電力株式会社

号機		※1	※2				
		1号機	2号機	3号機	4号機	発電所合計	
最大出力	kW	—	—	1,180,000	1,180,000	2,360,000	
発電日数	日	—	—	31	31	31	
発電時間数	時間	—	—	744	744	744	
電 力 量	発電端	10 <sup>3</sup> kWh	—	—	894,472	886,077	1,780,549
	所内消費	10 <sup>3</sup> kWh	1,480	1,444	35,690	34,924	73,538
	送電端	10 <sup>3</sup> kWh	-1,480	-1,444	858,782	851,153	1,707,011
最大電力	kW	—	—	1,207,000	1,195,000	2,402,000	
平均最大電力	kW	—	—	1,204,871	1,193,226	2,397,871	
平均電力	kW	—	—	1,202,247	1,190,964	2,393,211	
負荷率	%	—	—	99.6	99.7	99.6	
利用率	%	—	—	101.9	100.9	101.4	

※1 2015年4月27日運転終了

※2 2019年4月9日運転終了

核燃料物質の消費状況

2023年

8月分

九州電力株式会社  
(玄海原子力発電所1号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 持ち入量		月末在庫量 (炉内持ち入用)		月末装置量				炉外取出量				月末在庫量 (払出用)			熱消費量 ( $10^9$ kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウランの量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	燃焼度 ( $10^3$ kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	燃焼度 ( $10^3$ kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	燃焼度 ( $10^3$ kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)		
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 2015年4月27日運転終了  
(注) ( ) 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

2023年

8月分

九州電力株式会社  
(玄海原子力発電所2号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内入量		月末在庫量 (炉内在庫)		月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (払出用)			熱消費量 (10 <sup>9</sup> kJ)	核燃料物質消費量 (kg)			
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)					
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	172,910	2,744	1,568	0	0

(注) 2019年4月9日運転終了  
(注) ( ) 内は燃料集集体数を示す。

核燃料物質の消費状況

2023年

8

月分

九州電力株式会社  
(玄海原子力発電所3号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内入量			月末在庫量 (炉内ぞう入用)			月末出荷量			炉外取出货量			月末在庫量 (払出用)			熱消費量 (10 <sup>9</sup> kJ)	核燃料物質消費量 (kg)	
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)			
2.00	0	0	---	0	0	---	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3.50	0	0	---	(94)	0	---	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4.10	0	0	---	41,176	729	---	83,089	1,791	633	23,635	0	0	0	260,733	2,961	2,931	8,980	
(MOX) *	0	0	0	---	---	---	(189)	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	109
4.10	0	0	0	0	0	0	1,645	3	126	35,562	0	0	0	13,126	20	1,024	129	2
合計	0	0	0	41,176	729	0	84,734	1,793	759	10,121	0	0	0	310,896	3,272	4,251	9,109	111

(注) ( )内は燃料集合体数を示す。

\* 約4.1wt%濃縮ウラン相当以下

核燃料物質の消費状況

2023年 8月分 九州電力株式会社  
(玄海原子力発電所4号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内入量		月末在庫量 (炉内入用)		月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (払出用)			熱消費量 (10 <sup>9</sup> kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)		
2.00	0	0	( 1)	453	4	0	0	0	0	0	0	0	0	28,765	195	220	0
3.50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	( 64)	( 64)	304	0
4.10	0	0	( 122)	53,166	720	1,941	631	0	21,229	0	0	0	339,817	3,611	3,878	9,107	111
合計	0	0	( 123)	53,618	724	1,941	631	0	7,823	0	0	0	396,768	4,092	4,402	9,107	111

(注) ( )内は燃料集合体数を示す。



放射線廃棄物の管理状況

2023年8月分

玄海原子力発電所1号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
ND	ND	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
ND	ND	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 1、2号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本) (焼却処理等による減少分)	累積貯蔵量(本)
303 (-63)	39,749

(注) 200ℓドラム缶相当本数で示す。

※ 1、2、3、4号炉計の値を示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 3 年 8 月 分

玄海原子力発電所2号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 1、2号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射線廃棄物の管理状況

2023年8月分

玄海原子力発電所3号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
ND	ND	—	—

(注) ND: 検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
ND	ND	—	—

(注) ND: 検出限界値未満を示す。

※ 3、4号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射線廃棄物の管理状況

2023年8月分

玄海原子力発電所4号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
ND	ND	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 3、4号炉計(共用設備)を3号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

# 環境放射能測定結果

( 2023 年 8 月分)

2023 年 9 月

九州電力株式会社



空間線量率測定結果(モニタリングステーション)

2023 年 8 月分

九州電力株式会社

測定場所 ステーション

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	25	24	25	16	24	24	24
2	25	24	24	17	31	24	26
3	25	24	24	18	26	24	25
4	25	24	24	19	25	24	24
5	25	24	25	20	25	24	24
6	25	24	25	21	25	24	24
7	25	24	25	22	25	24	24
8	26	24	25	23	25	24	24
9	31	24	27	24	32	24	25
10	33	24	27	25	33	24	26
11	24	24	24	26	25	24	24
12	25	24	25	27	25	24	25
13	25	24	25	28	25	24	25
14	24	24	24	29	25	24	24
15	24	24	24	30	29	24	25
				31	25	24	24

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2023 年 8 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-1(岸壁)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	23	22	22	16	22	22	22
2	23	22	22	17	28	22	23
3	23	22	22	18	24	22	23
4	23	22	22	19	22	22	22
5	23	22	22	20	23	22	22
6	23	22	23	21	23	22	22
7	23	22	22	22	23	21	22
8	23	22	23	23	23	22	22
9	28	22	24	24	30	22	22
10	34	22	25	25	30	22	23
11	22	22	22	26	23	22	22
12	23	22	23	27	23	22	22
13	23	22	22	28	23	22	22
14	22	21	22	29	23	21	22
15	22	22	22	30	26	22	22
				31	22	22	22

# 空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2023 年 8 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-2(ダム南)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	24	23	24	16	23	23	23
2	24	23	23	17	30	23	25
3	24	23	24	18	25	23	24
4	24	23	24	19	24	23	23
5	24	23	24	20	24	23	23
6	24	23	24	21	24	23	24
7	24	23	24	22	25	23	24
8	25	23	24	23	24	23	24
9	30	23	26	24	33	23	24
10	35	23	26	25	33	23	25
11	24	23	23	26	24	23	24
12	24	23	24	27	24	23	24
13	24	23	24	28	24	23	24
14	23	23	23	29	24	23	24
15	23	23	23	30	29	23	24
				31	24	23	23

玄海1号機 廃止措置の実施状況  
(2023年 8月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度				2024年度	2025年度
(1)系統除染	▼着工（7月13日）											
除染準備作業	[Gantt chart bars]											
装置設置	[Gantt chart bars]											
除染	[Gantt chart bars]											
片付け（装置撤去）	[Gantt chart bars]											
(2)汚染状況の調査	[Gantt chart bars]											
線量当量率測定	[Gantt chart bars]											
試料採取	[Gantt chart bars]											
輸送・分析・評価	輸送・分析 評価											
(3)汚染のない設備の解体撤去	高圧給水加熱器 低圧給水加熱器 タービン建屋内機器保温材 復水プースタポンプ等 スチームコレクター等 復水脱塩装置（中和槽・排水槽排水設備）等 主/所内変圧器等 脱気器/湿分分離器遮し弁等											
(4)使用済燃料搬出	搬出計画検討											
(5)新燃料搬出	輸送容器への収納方法検討・搬出準備											

2 今月の作業実績（注2）

(1) 系統除染

終了（2017.7.13～2018.12.11）

(2) 汚染状況の調査

終了（2017.8.29～2022.3.18）

(3) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2017.11.1～ 2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	復水脱塩装置（中和槽・排水槽排水設備）等解体撤去工事 ・2023.3.6～2023.8.25

【解体撤去物の状況】（注3）

（単位：トン）

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	0	1025.4	0	1025.4	0
コンクリート類	0	47.1	0	47.1	0
その他	0	99.4	0	99.4	0

(4) 燃料搬出 (注4)  
・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海1号 使用済燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	240
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	240
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	112
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	112
玄海1号 新燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	16
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	16
	1号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	64
		搬出量 (前月末まで)	64
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	0

(5) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m <sup>3</sup> )	0	6.425	0	0	6.425
固体廃棄物 (本)	0	768	0	0	768
均質固化体	0	21	0	0	21
充填固化体	0	0	0	0	0
雑 固 体	0	747	0	0	747

(6) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

合計 (人・mSv)	今月		累計 (解体工事準備期間中) [2017.4.19~2023.8.31] (人・mSv)
	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.01	0.00	0.01	200.48

3 その他  
・なし



## 記載要領について

## (注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

## (注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況」に記載している主な工事の実績を記載する。

## (注3) 2 (3) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

## (注4) 2 (4) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2016年9月30日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2016年9月30日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

## (注5) 2 (5) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2017.4.19)以降の1号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、系統除染で使用した樹脂の量(m<sup>3</sup>)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約5.2 m<sup>3</sup>】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m<sup>3</sup>)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m<sup>3</sup>)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,800本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

## (注6) 2 (6) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位:mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載する。

玄海2号機 廃止措置の実施状況  
(2023年 8月分)

1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況(注1)

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(1)汚染状況の調査	[進捗状況]					
線量当量率測定	[進捗状況]					
試料採取	[進捗状況]					
輸送・分析・評価	輸送・分析 [進捗状況] 評価 [進捗状況]					
(2)汚染のない設備の解体撤去	▼着工(6月29日) [進捗状況] タービン建屋内機器保温材 高圧給水加熱器等 油計量タンク 復水器真空ポンプ A,B湿分分離加熱器等 塵芥搬送装置等 蒸気コンバータ等 主/所内変圧器等 薬品ヤード 補給水処理設備等					
(3)使用済燃料搬出	搬出計画検討					
(4)新燃料搬出	輸送容器への収納方法 検討・搬出準備					

2 今月の作業実績(注2)

(1) 汚染状況の調査

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
輸送・分析・評価	2021.7.1～ 2026.3.31(予定)	原子炉格納容器内外の放射化によるコンクリート、金属、及び二次的に汚染した配管、機器及び建屋の放射能濃度を確認するために採取した試料の分析及び評価を行う。	○評価 ・2022.3.25～実施中

(2) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2020.6.29～ 2026.3.31 (予定)	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	薬品ヤード解体撤去工事 ・2023.3.6～2023.8.25 高圧給水加熱器等解体撤去工事 ・2023.7.3～実施中 スチームコンバータ等解体撤去工事 ・2023.7.3～実施中

【解体撤去物の状況】(注3)

(単位：トン)

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	52.8	378.6	52.8	378.6	0
コンクリート類	0	42.3	0	42.3	0
その他	11.4	102.0	11.4	102.0	0

(3) 燃料搬出(注4)

・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海2号 使用済燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	254
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	254
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	168
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	168
玄海2号 新燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	28
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	28
	2号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量(当初)	84
		搬出量(前月末まで)	84
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	0

(4) 放射性固体廃棄物(注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂(m <sup>3</sup> )	0	0	0	0	0
固体廃棄物(本)	0	338	0	16	322
均質固化体	0	19	0	0	19
充填固化体	0	0	0	0	0
雑固体	0	319	0	16	303

(5) 放射線業務従事者の被ばく線量(注6)

合計 (人・mSv)	今月		累計 (解体工事準備期間中) [2020.4.1～2023.8.31] (人・mSv)
	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.04	0.00	0.01	11.01

3 その他  
・なし

## 記載要領について

## (注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

## (注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績を記載する。

## (注3) 2 (2) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

## (注4) 2 (3) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2019年3月31日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2019年3月31日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

## (注5) 2 (4) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2020.3.18)以降の2号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、除染で使用した樹脂の量(m<sup>3</sup>)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1 m<sup>3</sup>】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m<sup>3</sup>)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m<sup>3</sup>)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,700本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

## (注6) 2 (5) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位:mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載する。